

小方学園「かしこく なかよく たくましく」

# 小方小通信

大竹市立小方小学校

令和6年2月9日

教頭

## 学校朝会 学校長の話

皆さん、おはようございます。いつものアレをいきます。小方学園のみなさん！！元気ですか！！元気があれば、2月も病気に負けないぞ！！ということで、今朝の校長先生の20人とのあいさつの試合の結果を発表します。3勝17敗でした。小学校が運営委員会の取組で、先にあいさつをする試合、「あいさつワールドグランプリ、いわゆるIWGP」として小学校全体の取組もしてもらいました。6年1組さんが優勝しましたが、これからが始まりです。IWGPが終わっても、変わらず続けて毎日、立派にあいさつを続けている人が多いです。本物です。逆にチャンピオンベルト欲しさにだけがんばっていた人は偽物です。あなたは、いつもがんばる本物ですか。それとも偽物ですか。本物になりましょう。

今日は12月の全校朝会でお話した「親切」について、もう1度、お話しします。12月には、こんなお話をしました。「小方学園でも、小中学生全員653人が、学校の中でも、学校から帰ってからでも、1日に一つだけ親切をしたら、653の親切になります。1週間では4571の親切が学校や小方の町中に広がり、親切で一杯になります。そのような学園、そのような町で生活したら、誰もが楽しく過ごせることでしょう。」それから小方学園に転入してくてくれた友達がいるので、正確には、1週間で4578の親切になります。

「小さいな」と思う親切で、構いません。1月に入って、中学校のいくつかの学級の学級通信を読ませてもらっても、「小さな親切」がたくさん生まれていることが分かります。

例えば、次のような「小さな親切」のことが書かれていました。

- ・席替えのとき、椅子を持ってきてくれた。
- ・図書ボランティアの方が、先生を探しているとき、職員室に先生を呼びに行ってくれた。
- ・数学を分かりやすく教えてくれた。
- ・配りものを手伝ってくれた。
- ・健康観察簿を忘れていたことを伝えてくれた。
- ・牛乳パックが落ちたとき、拾ってあげていた。
- ・給食のトレーが落ちたときに、拾うのを手伝ってあげていた。

さすが、中学生です。周りの人が、してもらったら助かることに、よく気が付いて行動できていることが分かります。

小学生はどうでしょう。日頃から、学級で友達の良いところ見つけをして帰りの会で発表している学級もありますね。実は、小学校の保護者の方から、去年の終わりから1月にかけて2件、ご丁寧に学校にお知らせいただいたことがあります。

1件目は、年末に図書ボランティアの保護者の方が、図書室を掃除して下さっていたときに、小学校5年生の女子が、黙ってそっと、椅子を机からおろしてくれました、というお話です。その保護者の方は、こんな親切な子がいるということを、とてもうれしそうに話してくださいました。2件目は、次のようなお話です。給食エプロンを道に落としてしまっただけで気付かずに家に帰ってしまった子がいました。でも、他の学年の子4人が家まで届けてくれたということ、そして名前をきいたら、名前を元気よく教えてくれて気持ち良かったこと、こんな親切が広まっていったらいいなと思って、学校にお知らせをいただいたということでした。校長先生も、最近、たまたま見た親切があります。教室から音楽室に移動するとき、小学生は並んでいきます。机の下に椅子が入っていない人が2人いましたが、気が付いてそっと2人の椅子を入れてあげる人がいました。

今日、これまでに紹介した10の「親切」のすばらしいところは、「相手の心を想像して、少しの勇気を出して、行動を起こして、心のプレゼントを相手に贈っているところ」だと思います。そして、どの親切も「やってやった」というような「恩着せがましさ」がありません。

これからも、そっと、さりげなく、普段から仲のいい人だけではなく、誰に対しても、心のプレゼントを送れる人が増えたら、安全・安心な小方学園になって



いくと思います。

もちろん、親切に気が付いたら、「ありがとう」という言葉も大事ですね。毎日、どの学級も、プリントを配るときは「どうぞ」と言い、配られた人は「ありがとう」という言葉を返していると思います。

「親切」と「ありがとう」のセットが、よく見られる学校、とても素敵な学校だと思います。

「親切」と「ありがとう」のセットで一杯の小方学園、地域にしていきたいと思います。

## 入学前体験入学

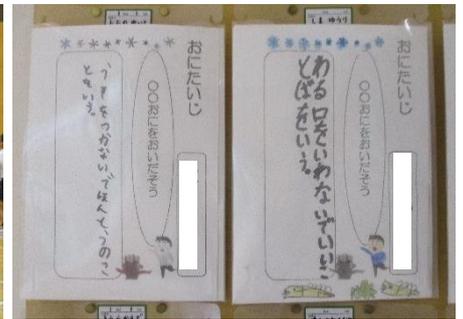
来年度入学してくる子供たちに、小学校生活の一部を体験してもらう「体験入学」を行いました。来年度の一年生ということもあり、五年生がはりきってお迎えしました。どんな活動をしてもらおうかな、どう話を



したらいいかななど、一生懸命考え、準備をしました。入学が楽しみになるように、歌を歌ったり折り紙をしたり絵本の読み聞かせをしたりと、いろいろな活動を行いました。目線の高さを合わせて声をかけたり手をつないで歩くなど、優しく触れ合った五年生でした。児童生徒教職員一同、入学を楽しみに待っています。

## 節分豆まき会

2月3日は節分ですが、土曜日でしたので・・・2月2日に赤オニが来ました。一年生は、自分の中の悪いオニを追い出そうと豆に見立てた新聞紙を丸め、かわいい節分の音楽とともに「オニは外、福は内」となげていました。



しかし音楽が変わり赤オニが入場すると、とたんに一年生は大混乱。勇敢に新聞紙の球を投げにくる子もいれば、泣きながら逃げ惑う子もいたりでしたが、無事にオニを追い出すことができました。

室町時代から行われている豆まき。今年も赤オニのおかげで自分の中の悪いオニを追い出すことができたので、みんな健康で幸せに過ごせる一年になることと思います。

## 避難訓練（不審者）

2月6日、避難訓練を行いました。今回は、不審者対応です。命を守る大事な訓練です。大竹警察署の方にご協力いただき、不審者が侵入したときの避難方法について訓練をしました。警察署の方からの講評では、静かに先生の指示が聞けるようにすることが大事であり、落ち着いて慌てず行動しなくては行けないが、全体的にそれができていたと言われていました。もしも被害にあったときには、犯人の特徴を一つでも多く覚えておくことが大切だそうです。性別、髪型、服装、メガネをしていたとか、帽子をかぶっていたとか・・・。まさかという事態が起きないとも限りません。おうちでも、不審者に遭遇した時のことを想定し話をしてみてください。